
Wrike と NEC ネットズエスアイが戦略的パートナーシップを提携、 日本市場の拡大をサポート

新たなパートナーとして、2021 年までに Wrike ソリューションで 10 億円の売り上げを目指す

カリフォルニア州サンノゼ、2019年5月23日 – 効率的にチームワークのパフォーマンスを高める共同作業とプロジェクト管理のプラットフォームである Wrike は、日本国内において、NEC ネットズエスアイ株式会社(NESIC)と提携し市場を拡大していきます。NEC ネットズエスアイは、2021 年度には Wrike 関連ソリューションの累積販売額が 10 億円に達すると目標しています。その理由として、Wrike プラットフォームがデジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に不可欠であること、リソース管理を含む働き方改革の実現に有用であること、柔軟なテレワーク、リモートワークを実現することが挙げられます。2018 年、NEC ネットズエスアイはデジタル・トランスフォーメーションのテクノロジーを活用したオペレーションの効率性と生産性の向上に取り組み始めました。その取り組みにおいて、同社はサービスポートフォリオに、新たなソリューションとしてだけでなく、ビジネス管理目的で自社内で活用するプラットフォームとしても Wrike を採用しました。

NEC ネットズエスアイは、新しい働き方・オフィスへの挑戦として戦略的なオフィスの分散を予定しております。Wrike は、場所、時間、人を選ばず業務やプロジェクトの管理が可能であり、更に、業務の見える化、リアルタイムでの更新・共有と、それによるリソースの最適化で、様々な働き方に対応した、組織全体の効率化が可能であると期待しています。

NEC ネットズエスアイは、職場での作業の効率化をサポートするテクノロジーの促進に注力しており、2007 年以降の Future of Work(仕事の未来)を巡る問題の最前線に立ち続けています。同社は 10 年以上にわたって働き方改革を提唱しており、ペーパーレスとテレワークを推進しているパイオニアであり続けています。この提携により NEC ネットズエスアイは日本で Wrike ソリューションの販売を開始します、Wrike ソリューションの導入は日本のエンタープライズ企業を席巻している、デジタル・トランスフォーメーションの推進に不可欠です。



NEC ネットズアイは、自社利用での知見を活かし、Wrike をお客様に提案いたします。実践に基づいたノウハウで、現在の業務における課題の洗い出しから、解決提案、Wrike の導入からサポートまで一括で行います。Wrike を活用し、日本の働き方と業務プロセスに変革を起こしたいと考えております。

「NEC ネットズアイが Wrike のユーザーとなり、同社とのパートナーシップをサポートできる機会が得られることをとても嬉しくおもいます」と Wrike の創設者兼 CEO の Andrew Filev は語っています。「さらに、同社とのパートナーシップの提携は、Wrike プラットフォームが厚く信頼いただいていることに他なりません。私たちは NEC ネットズアイとのパートナーシップを推進するとともに、こうした大きな変化のタイミングにあおいて日本企業のサポートに共に取り組むことを楽しみにしています。」